

## 女性枠設定による教員採用・養成システム

(実施期間：平成 21～25 年度)

実施機関：九州大学（代表者：有川 節夫）

### プロジェクトの概要

#### (1) 新規養成女性研究者の採用計画

理工農分野の主要部局に対して毎年 5 名分の女性枠教員ポストを設定し、部局間の競争を促すことで優れた女性教員を採用・養成する。各部局からの女性教員採用・養成計画を全学委員会で審査し、女性枠教員ポストの使用を認める部局を選定する。選定された部局は女性教員採用候補者を推薦し、全学委員会でこれを審査し採用を決定する。また、本学独自の予算により、理工農以外の分野の部局についても 2-3 名分の女性枠教員ポストを確保し、同様の取組を行う。

#### (2) 女性研究者養成のための取組内容

採用する部局において、学内外のアカデミックメンターを複数選定して研究上の助言を行う。さらに既設の女性研究者支援室をキャリアアップセンター（仮称）に発展・拡充し、国際学会派遣や国際誌投稿等の国際的な活躍を促進する支援を行うほか、競争的外部資金の獲得を始め研究者のスキルアップにつながるセミナーの開催等を企画・実施する。また、ライフサポートメンター制度も整備する。

#### (3) 期待される効果

女性枠教員ポスト運用により、女性比率が確実に増加することで、本学が女性が活躍出来る研究機関であることをアピールし、女性研究者比率全体の増加が継続して期待できる。

#### (1) 評価結果

総合評価	進捗状況	女性研究者支援システム改革状況	取組の内容	実施体制	今後の進め方
S	s	s	a	a	s

総合評価：S（所期の計画を超えた取組が行われている）

#### (2) 評価コメント

部局人員管理方式「ポイント制」を活用した女性枠設定による教員採用システムを構築し、目標数を超える優秀な女性研究者の採用を実現している。上位職階による採用が進み、また、一般公募においても女性教員の採用が増加しており、システム改革の成果として高く評価できる。

- ・進捗状況：女性枠による教員採用方式の確立、女性研究者支援室の改組、女性研究者のための国際的活躍を促すスキルアップ支援、女性研究者採用目標、大学全体の女性教員比率目標など目標以上の成果を上げていることは高く評価できる。

- **女性研究者支援システム改革状況**：「ポイント制」を活用した女性専任教員ポストの設定、女性限定の国際公募、全学審査により、優秀な女性研究者を採用するシステムが確立され、効率的に機能しており高く評価できる。さらに他機関への波及効果も高い。
- **取組の内容**：取組の成果を解析し、外部評価委員からのコメントを踏まえ、常に積極的な取組の改善を行っていることは評価できる。
- **実施体制**：総長のリーダーシップの下、大学一体となった実施体制が構築されていると評価できる。
- **今後の進め方**：事業終了後も自主経費を十分に措置するなどして、5年間の制度延長を決定しており、高いレベルでの取組の継続性と発展性が期待できることは高く評価できる。